

「地理歴史(世界史探究)」の出題の意図

第1問

第1問は、モンゴル帝国後のユーラシアないしは世界規模の広域交流について考える問題です。一国、あるいは東アジアや西ヨーロッパといった地域の枠内で、人類の歴史が完結するわけではありません。国や地域を越えて人々が移動し、制度ばかりでなく宗教や文化面でも影響を及ぼすことを常に考えておく必要があります。問(1)は、ムガル帝国の成立、宗教政策や文化についての問題です。南アジアだけでなく、中央アジアや西アジアも視野に入れ、ムガル帝国の特質を理解します。そのうえで、インド社会・文化の変化を、4つの語句を手掛かりとしながら、論述することが求められます。問(2)は、ポルトガルのアジア進出についての問題です。まず、4つの語句を手掛かりとして、記述すべき空間的広がりを確定させる必要があります。そのうえで、史実の適切な理解を示すほか、海域アジア全般に拡がるポルトガルのアジア進出の本質を述べることが重要です。

第2問

第2問は、地球環境や天然資源が人類の歴史に与えてきた影響について考えさせる問題です。問(1)は、12世紀フランスの修道院で作成された冊子本に見られる装飾挿絵から、この時代の修道士たちの活動を読み取り、その背景となった気候傾向について、その後の変化もあわせて考察するものです。問(2)は、14世紀西アジアで作成された旅行記を材料に、当時の政治状況を確認したうえで、環境と交易の関係について考察するものです。問(3)は、ロシア国家の領土拡大を天然資源という切り口から考察するものです。以上を通して、人間の活動と地球環境や天然資源が様々な形で関わりあっていたことについて考えてもらうこと、また、歴史書だけではなく多様な史資料も含めて分析する必要性について理解してもらうことを意図して、出題しました。

第3問

第3問は、歴史のなかにおける女性と男性のあり方について考えるための資料や図版を用意し、10個の問いを設けました。社会的・文化的な性差が歴史のあらゆる側面に関わっていることを理解しているかを問うています。

【解答例】

問(1) 青年トルコ革命

問(2) ヴァイマル憲法

問(3) 公民権運動

問(4) ウ

問(5) ヴォルテール

問(6) ア

問(7) サッフオー

問(8) 則天武后

問(9) ナポレオン法典

問(10) 総力戦